

平成27年度 「大阪市統一テスト」における 木津中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市統一テスト」について、平成27年10月15日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- ① テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成28年度入学者大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- ② 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校及び特別支援学校中学部の第3学年

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成27年度「大阪市統一テスト」検証シート

学校名	大阪市立木津中学校
-----	-----------

生徒数(人)	47
--------	----

平均正答率（点）

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	62.5	49.2	53.5	52.3	59.6
大阪市	64.7	57.4	59.3	55.6	59.8

結果の概要

授業内容・指導方法などを工夫して、基礎学力の定着と向上に取り組んでいるが、予習・復習・宿題の提出等基本的な学習習慣が身についておらず、毎年同じような結果となっている。英語は比較的良好に頑張っており大阪市平均とほぼ同じ正答率となっているが、国語と理科は大阪市平均の正答率を2～3点下回っている。数学は大阪市平均正答率より約6点、社会は同じく8点程度下回る結果となっている。

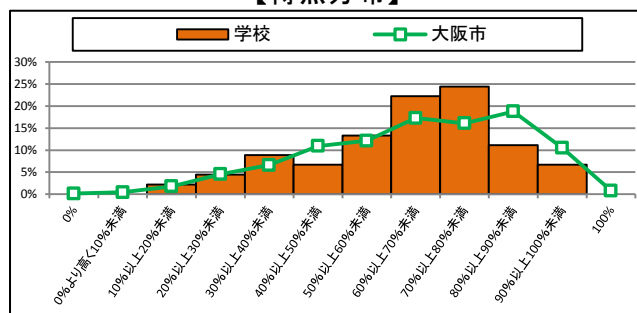
成果と今後取り組むべき課題

社会・理科は正答率30%未満の生徒が大阪市平均より多くこの層の引き上げが求められる。国語を除いて各教科ともに基礎の正答率に比べて、活用の正答率がかなり低い。また、解答形式では、選択問題・短答問題に比べて記述問題の正答率が低く、書く力や表現する力を身に付けさせる工夫が必要である。

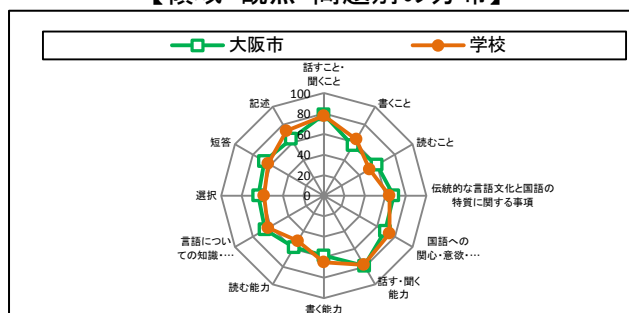
【各教科の得点分布と領域・観点・問題形式別平均得点の分布】

【国語】

【得点分布】

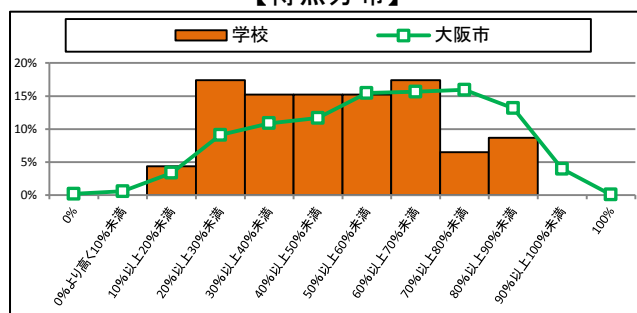


【領域・観点・問題別の分布】

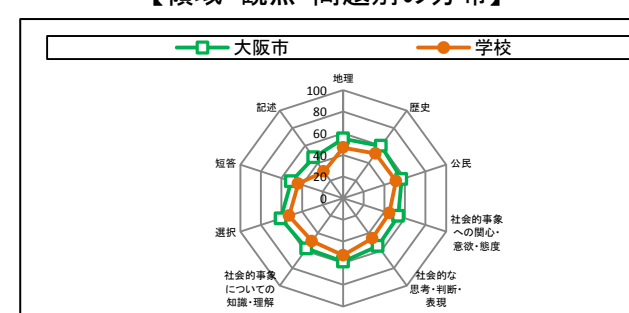


【社会】

【得点分布】

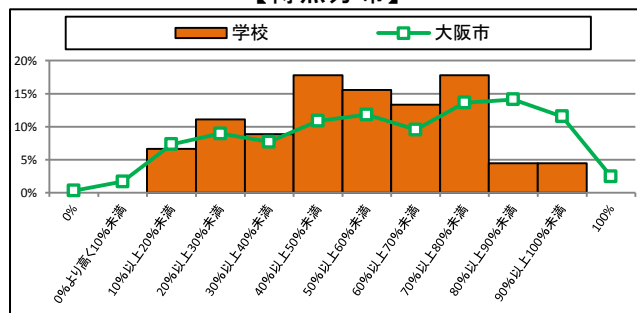


【領域・観点・問題別の分布】

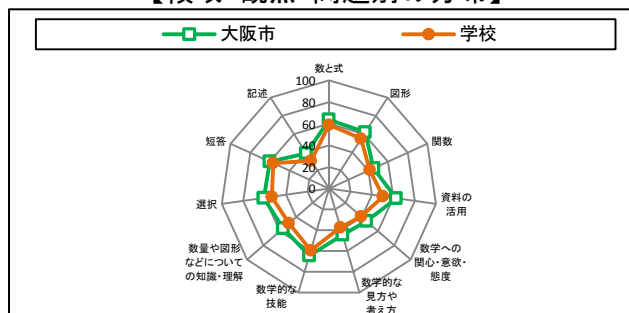


【数学】

【得点分布】

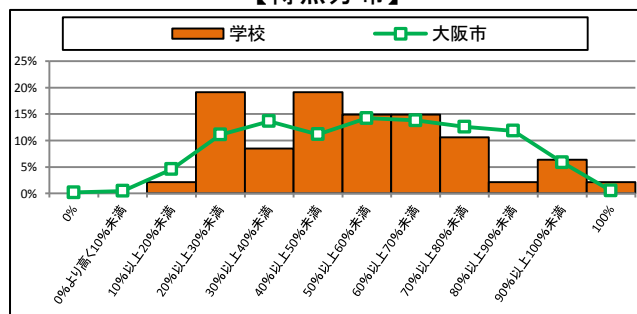


【領域・観点・問題別の分布】

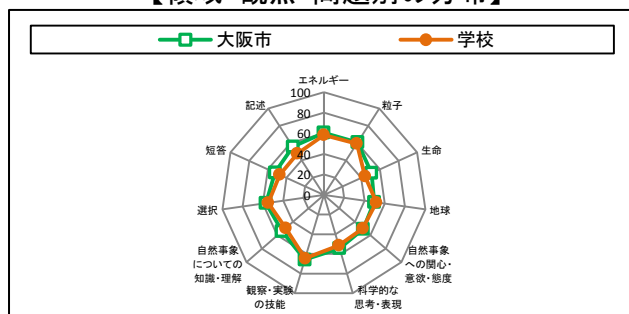


【理科】

【得点分布】

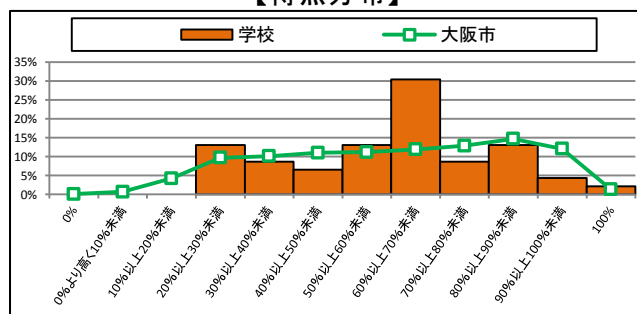


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【得点分布】



【領域・観点・問題別の分布】

